

## C18c 木曾観測所が行うパブリックアウトリーチ III-特別公開と観望会

征矢野隆夫、中田好一、田中培生、宮田隆志、青木勉、樽沢賢一、西浦慎悟、三戸洋之(東京大学木曾観測所)

木曾観測所では、1974年の開所当所から天文学への理解や科学への関心を深める事を目的として、年に一度施設を特別に公開してきた。またこれは、観測環境を守って行くための地域理解にも重要な役割を果たしてきた。特別公開は、定常的に行っている公開日とは異なり、所員が直接解説にあたり、理解し易い内容で実施している。公開の要点を以下に列挙すると、1) 普段立ち入ることのできない施設内部の見学, 2) 望遠鏡、観測装置、測定機等の紹介, 3) 観測デモを行い、観測内容を紹介, 4) 観測所での新しい発見など、所内で行われている研究紹介や特別公演, 5) 話題の天文トピックの紹介, 6) 見るだけでなく、簡易工作等による体験学習, 7) 夜間の観望会, である。

この特別公開に、交通の不便さにも関わらず、公開当初から500名を超える見学者が訪れており、その関心の高さを伺い知ることができる。93年からは隣接して設置された名古屋大学太陽地球環境研究所の施設公開も同時に行うようになり、電波天文への理解も広がつつある。

公開を行う中で要望の強かった観望会を81年から隣接の町村に出掛け、「星空教室」という形で年数回行ってきた。このことがきっかけとなり、郡内の小中高等学校の「理科特別授業」へと発展し、本格的に天文学を目指そうとする子供達の「銀河学校」へと発展していった。その詳しい内容については本年会のポスター「木曾観測所が行うパブリックアウトリーチ I,II」をご覧頂きたい。本演では観測所が27年間に渡って行ってきた特別公開と観望会の内容について詳しくポスターで紹介する。